

神戸市会議員（西区）二期目

山下てんせい

vol.12



皆さんこんにちは 暖冬となった2019年ですが時折厳しい寒さが続き、先日は西区でも雪が舞いました。一方で春の足音は確実に近づいております。今回は予算審議を前として、西区で話題となっている事柄について実態をお伝えするとともに、山下てんせい4年間の活動を報告させていただきます。

「市営地下鉄西神・山手線と阪急電鉄神戸線の相互直通運転の検討について」

この件について神戸市会の議事録を紐解きますと、最初に話題として登場したのは平成16年の決算特別委員会、公営企業会計決算審議において、私の父、山下まさたけ元市議が質問しておりました。

当時の松田交通局長は

「近畿地方交通審議会における次期の将来鉄道計画の中で、既存の鉄道施設の改良事業の検討対象として上がっている。しかし多くの課題がある」と回答しておりました。

その後平成17年予算特別委員会第3分科会において、現在の自由民主党神戸市会議員団団長である安達議員が、具体的な推進理由とともに質問をされており、以後一貫して神戸市営地下鉄と阪急の相互直通運転を推奨してきました。

以降度々、多くの議員が当該質問を行っていましたが、平成25年第2回定例会市会において、安達議員の質問に対し久元市長は相互直通の課題を述べた後、

「しかしながら、今後、人口減少社会が到来する中で公共交通のネットワークをいかに活用するかは、まちづくりの観点からも重要な課題である」

と前向きな答弁をされたことで潮目が変わり、前向きな議論が開始しました。

一方平成30年9月、産経新聞で「神戸地下鉄快速復活へ 阪急との乗り入れ視野」との報道がなされました。これは誤報であり交通局は10月1日に市のHPにおいてその旨報告されました。

しかし、さも決定したかのような情報の流布について懸念を抱いております。

そこで現在の状況を、住宅都市局計画部公共交通課の飯塚課長に伺いました。



相互直通運転の検討について

相互直通運転については、これまで、平成26年から阪急電鉄と神戸市で継続的に勉強会を開催し、意見交換を行っています。その中で、接続場所については、三宮の接続の他、複数の候補の中からどこが適切か議論を進めています。

平成30年度からは、神戸市と阪急電鉄でお互いに予算を計上し（平成30年度当初予算1000万円）、共に相互直通運転の実現可能性について本格的な検討を開始しています。現在、相互直通運転と関連する路線の今後のあり方や事業効果・採算性等の検討を進めているところです。



「西区新庁舎整備について」

神戸市西区庁舎整備に関する要求水準書が、10月に行財政局から提出されました。

西区役所移転に関して議事録を紐解きますと、これも平成13年の決算特別委員会第一分科会において、私の父、山下まさたけが質問しておりました。当時は押部谷近辺および伊川谷近辺の方々が、サービス窓口が出張所になった事で不便になり西神中央出張所に来られている実態を述べ、西神中央の機能強化を求めるものでした。

平成25年第1回定例会市会一般質問において、私、山下てんせいが西区役所移転について質問し、当時の久元副市長より以下のような答弁がありました。

「地域団体などから区役所移転の声が出てきていることも事実であります。（中略）長期的な視点で考えた場合、移転も検討すべき事項の一つと認識しております。西神中央周辺のまちづくりの状況や、区役所と出張所の利用状況などにも留意しながら西区民に対する行政サービスのあり方として、将来的にどのような形がいいのか、研究課題とさせていただきます」

そして区役所移転が現実のものとなりました。事業主体は当該建築予定地の管理運営を行っているOMこうべなので行財政局としてこのような水準の建物を設計するように指示するものが「要求水準書」です。

建築面積は約3,000㎡、延床面積は約9,500～10,500㎡、地上6階建てです。

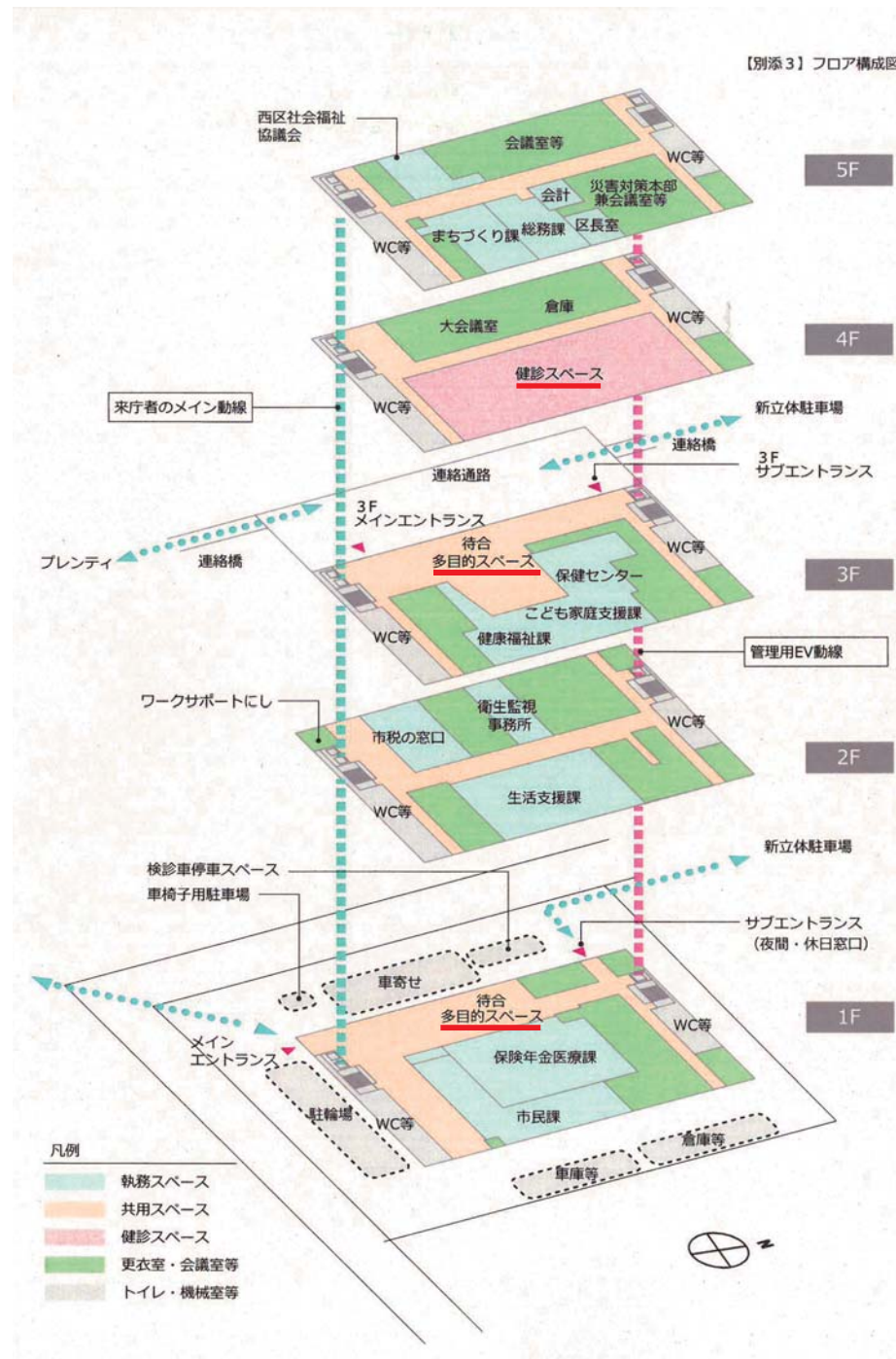
地域性について「西神中央地域は、自然環境に恵まれながらも先端産業や学びの場が集積する地域となっている。（中略）**新区庁舎にも地域のシンボルとなることが要求される**」また景観性について「長らく区民に親しまれる永続的なデザインとする。**また積極的かつ効果的に木材利用及び緑化を図ること**」とありおよそ我が会派が要望したことがしっかりと盛り込まれております。

メインエントランスは3階となり、1階と3階には「**展示やイベント等、多目的に利用できるスペースを設置すること**」との記述があり広く確保されました。また「**アクティビティが外部から見える空間とするとともに木材を積極的かつ効果的に利用した象徴的な空間とする**」とあります。

一方バリアフリー対策もしっかり考えられており、福祉計画の中で「**誰でも自力で円滑に目的地まで到達でき、また、全ての利用者にとって安心、安全かつ快適に利用できるよう、バリアフリーやユニバーサルデザインの視点に十分に配慮すること**」とあります。

また4階には検診スペースが820㎡確保され乳幼児健診におけるストレス軽減が期待されます。

今後は、**パブリックに提供される会議室等の確保や、新庁舎への動線、親子連れで憩えるスペースの確保等、地域の皆様のお声をいただきながら提言を続けていきます。**



山下てんせい議員通知簿

2015.6～2019.2

議会活動

本会議出席	皆勤	◎
常任・特別委員会出席	視察も含め皆勤	◎
本会議代表・一般質問	5回	○
予算決算局別質疑	のべ14回	○
常任委員長	2回（2015 企業建設、2016 総務財政）	○
特別委員会副委員長	1回（2017 大都市行財政）	○
特別委員会参加	4回（2015・2016・2018 外郭団体、2017 大都市行財政）	◎
会議録発言文書数	88（2018/12/11 現在 未収録除く）	◎
8年間通算文書数	181（二期目議員1位）	◎
8年間通算発言数	1796（二期目議員3位）	○

予算や決算における局別質疑回数は減少しました。しかしその分、質問時間は十分に与えていただきましたので一期目に比べて実のある質疑ができました。また特別委員会におきましてはもはやライフワークともいえる**外郭団体に関する特別委員会**に鋭意参加し、様々な提言をいたしました。

議員連盟役職

日印友好神戸市会議員連盟 事務局長

ボーイスカウト神戸市会議員連盟 事務局長

木材利用推進政令市議会議員連盟 事務局

その他さまざまな議員連盟に会員として参加しています。



二期目にして重要な役をいただき、精一杯つとめさせていただいております。

神戸市とインド国とは歴史的なつながりが深く、また在神戸インド人の多くがグジャラート州出身です。北野には彼らの信教であるジャイナ教の寺院がありますが、これは日本唯一のものであります。こういった背景から、神戸市会では日印友好議員連盟を結成し、また兵庫県とグジャラート州が協力提携を持っていることから、**州最大の都市であるアーメダバード市との経済協力をはじめとする包括提携**を目指しています。

また**ボーイスカウト**に関しては、少子化傾向からの慢性的な団員不足を回避し、**ボーイスカウトの理念を守るため**に活動しております。

木材利用推進については、私の政策テーマである、環境問題や昨今の異常高温対策について最も効果的と考えるカーボンオフセットの延長線上にあります。その究極の目標は「都市を冷やす」ことにあり、**都心における木材利用を推進する活動**に協力しています。

(プロフィール)

昭和49年12月8日生まれ(44歳) 血液型B型 身長187cm 西区春日台在住 本籍地は鹿児島県始良市 春日台小、白陵中、白陵高、横浜国立大学経済学部経済法学科卒業 父は、元市議員 山下まさたけ 12年間のサラリーマン生活を経て、2011年執行の神戸市議会議員選挙にて初当選。現在2期目

- ◆春日台防災福祉コミュニティ FAST 班長 ◆日本ボーイスカウト神戸第70・73 団育成会会長
◆神戸鹿児島県人会 青年部長

代表的な役職

山下てんせい4年間に取り組んだ活動の一部をご報告します

ニュータウンの活性化 2017～

ニュータウンに住んでいるみなさんが、買い物やグルメを楽しむために、外周道路のへた地活用やコミュニティービジネスへの支援を進めていただけるよう要望。またスーパーの撤退などによる買いもの難民を生み出さないために、**移動販売車の手配**を呼びかけJA・コープの協力を得る。

悪徳水道業者排除 2015～

悪徳民間水道業者に関し、神戸市水道サービス公社に協力を要請。集合住宅の水回り相談や簡易な漏水修繕、神戸市管工事業協同組合との連携による啓発や修繕受付を推進。下水道についても2017年に同様の質問をしました。

看護大学の独立法人化 2011～

看護大学のあり方について、保健福祉局の部局として庇護のもとにあることを指摘してきました。平成31年4月に公立大学法人へと移行し、一本立ちへ。

青色パトロール団体支援 2017～

青色パトロール団体に対して、ドライブレコーダーや燃料費に対する手当ても必要と要望。2019年度予算に**活動報償制度**という項目が加わり、青色パトロールの実績により報償金がいただける仕組みが新設予定。

食の多様性に寛容な神戸へ 2018～

ベジタリアン(菜食主義者)の方々の悩みやハラルの考え方を取り入れることが、国際都市神戸には不可欠。そこで神戸発信となる情報提供や、食材表示に関するサインの研究を提案。ひいてはこれが、農業振興にも効果を発揮すると思います。

クリエイター育成、新産業創出 2017～

神戸市のクリエイター育成のフィールドとしてKIITOの外に活躍の場が少ないと指摘、久元市長の考える都市型産業の集積が薄いという点で意見が一致。神戸市西部地域(海岸線沿い)の空き倉庫や空きスペースを活用したデザイナーズタウンのようなものを提案しその実現に向け進行中。

なでしこホールの音響問題 2016

市民からの指摘により不満のあった西区民センターのなでしこホールの音響について質問、随時様々な改善を促す。後に市長公約の中の「**西区に新ホールを建設する**」につながった一つの要素になりました。

民間経験者採用の年齢制限見直し 2016

神戸市において当時32～38歳の層が著しく少ない点と、採用制限が28～35歳であったことを指摘。翌年からの採用制限を39歳までに引き下げ。

中古不動産流通促進 2014～

オールドタウン化を見据え、空き家対策の一環として中古物件流通促進についての提言を続けています。また老朽化家屋対策にも鋭意取り組んでおります。

音楽に触れるまち神戸を目指して 2014～

国際フルーツコンテスト存続について、会派をあげて応援。また街中にフルーツをはじめとする音色が溢れる環境づくりを推進し、その一環として2018年三宮駐車場他のBGMにフルーツコンテストの音源を採用することが実現しました。

市会西区 山下てんせいの活動は

facebook

またはホームページにてご覧ください。

山下てんせい

検索

会派 HP <http://www.jimin-kobe.com/>

